

第9章 特別活動

第1 指導計画の作成

1 指導計画作成の基本的な考え方

- (1) 学校の創意工夫を生かす
各学校において、学校の伝統や歴史、経営方針や重点目標、地域のよさや特性等を積極的に生かすなど工夫して、特色ある特別活動の指導計画を作成することが重要である。
- (2) 学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮する
学級や学校、地域の実態、集団の状況及び児童の発達の段階（「発達課題」、「学校生活における集団活動の発達的な特質」、「発達に即した指導のめやす」など）を考慮する。
- (3) 各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る
カリキュラム・マネジメントの観点に立ち、各教科等で育成された資質・能力が特別活動で十分に活用できるようにするとともに、特別活動で培われた資質・能力が各教科等の学習に生かされるように関連を図ることが大切である。
- (4) 児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする
学級活動(1)や児童会活動、クラブ活動では、自発的、自治的な活動を一層効果的に展開し、自主的、実践的な活動が助長されるようにする。また、学級活動(1)に重点を置き、より多くの活動の機会を設けることができるような計画を作成する。学級活動(2)、(3)や学校行事では、教師の適切な指導の下、計画や運営に児童の自主的、実践的な活動を可能な限り取り入れるよう工夫する。
- (5) 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する
体験を通して学ぶことを重視する特別活動の特質に鑑み、家庭や地域との交流を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化・伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用したりすることが大切である。

2 指導計画作成の一般的な手順

	作成の手順	
全体計画	ア 学校教育目標を具現化するための全体計画作成の方針を定める。 イ 特別活動の重点目標、指導の重点を決める。 ウ 家庭、地域との連携や各教科等との関連を図る。 エ 各活動及び学校行事の目標と指導の方針を明らかにする。 オ 目標やねらいが十分に達成できる授業時数を充てる。 カ 設置する委員会、クラブ、実施する学校行事を決める。	
学級活動	<u>学校としての年間指導計画</u> ア 学校としての学級活動の指導目標や内容を踏まえる。 イ 発達の課題や道徳科の内容項目、重点等を考慮する。 ウ 児童の活動として望ましい議題例や時期等の大まかな枠組みを定める。 エ 「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」は、学校や児童の実態に応じて取り上げる指導内容の重点化を図る。 <u>学級としての年間指導計画</u> ア 学級の指導目標や育てたい力を明らかにする。 イ 自発的、自治的な活動の経験や学級集団育成上の課題を把握する。 ウ 他教科等や特別活動の他の活動及び行事との関連を図る。 エ 学校としての年間指導計画や学級集団育成の見通しを踏まえ、指導内容を適切な時期に位置付ける。	
児童会	ア 学校としての児童会活動の指導目標を設定する。 イ 代表委員会や各委員会の組織と構成を明らかにする。	ウ 活動時間や活動場所を適切に設定する。 エ 年間に予想される主な活動を位置付ける。 オ 教師の指導体制を明確にする。
クラブ	ア 学校としてのクラブ活動の指導目標を明らかにする。 イ クラブの組織と構成を明らかにする。	
学校行事	ア 学校としての各行事の指導目標を明らかにする。 イ 行事間の関連を図ったり行事を統合したりするなど実施の在り方を創意工夫する中で、精選を図る。 ウ 5つの種類ごとに各行事の実施時期やねらい、内容、参加学年、授業時数を位置付ける。 エ 各教科等との関連を図り、1年間を見通した指導計画を作成する。	

※ 全体計画及び年間指導計画は、評価し、改善を図り、次年度の計画に反映させる。

3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項

(1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点

学びの過程において考えられる困難さに対する指導の工夫の意図、手立てを明確にし、個々の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫する。必要に応じて、個別の指導計画を作成し、必要な配慮を記載する。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点

特別活動において、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己実現に資するよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を推進する。そのために、特別活動の目標の具現化に向け、児童が「集団や社会の形成者」としての見方・考え方を働かせていけるよう、指導計画を作成する。

(3) 「教科等横断的」な視点

各教科等の特質に応じて育まれた資質・能力を、実践的な集団活動を通して、統合的で汎用的な力に変え、キャリア教育の充実を図るという視点からも、実生活で活用できるようにすることが大切である。学級経営の充実に資する特別活動の積み重ねが、学校文化を創造し、各教科等での主体的・対話的で深い学びを支え、そこで培われた資質・能力が、特別活動の充実にもつながる。

(4) 「社会に開かれた教育課程」の視点

児童の主体的な活動を指導する具体的な方策や、自校の実践を地域社会と共有することが大切である。また、学校が意図的、計画的な教育活動の一環として、学校内外において多様な他者と交流し、協働して活動できる機会と場を設定することが大切である。

(5) 「道徳教育の充実」の視点

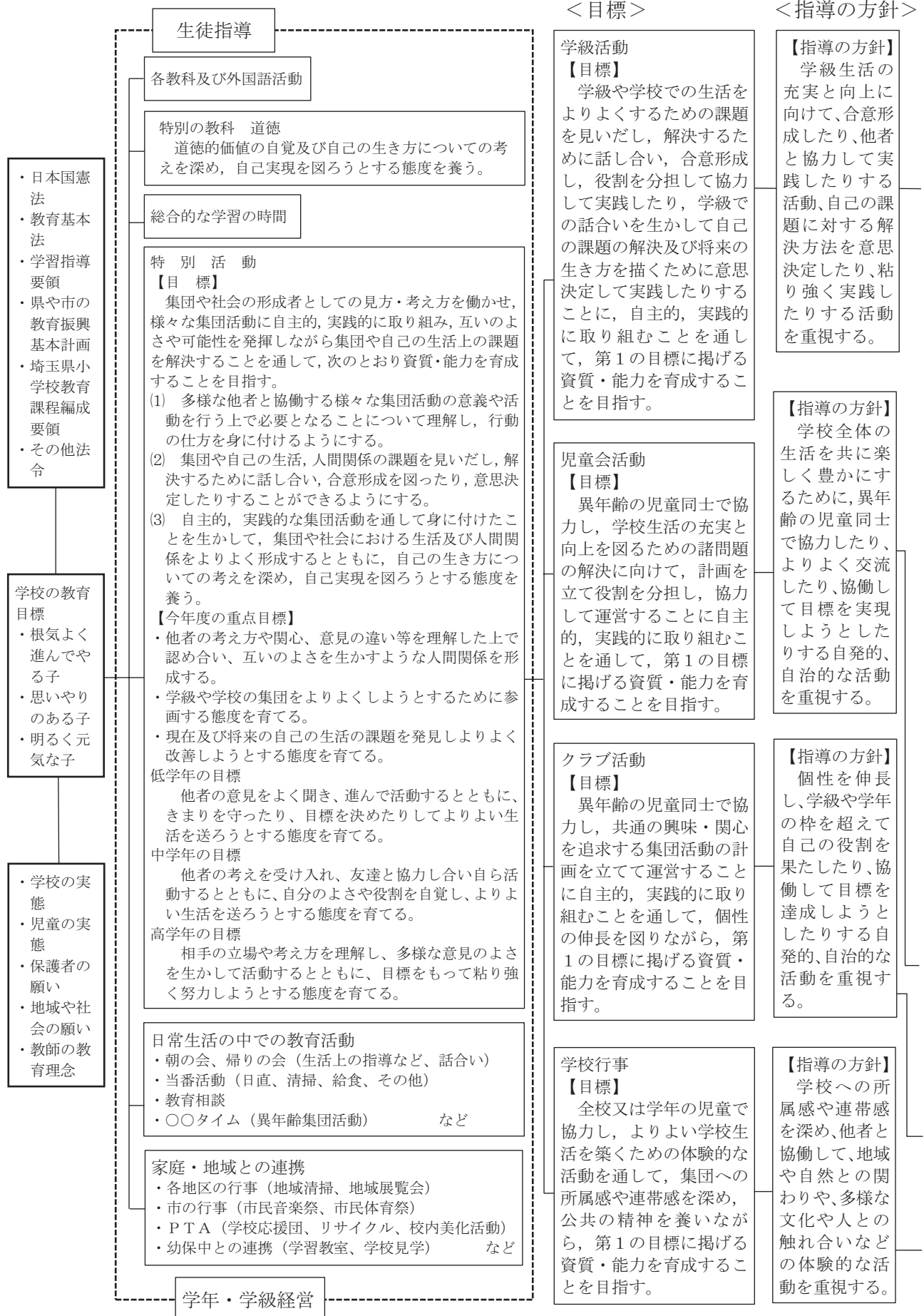
特別活動における道徳性の育成を目指して、道徳教育の内容との関連を考慮する。特に、「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら直面する課題を解決する」という特質を生かし、道徳的実践の指導の充実を図る。

(6) 内容の取扱いについての配慮事項

	配慮事項
全体計画	<ul style="list-style-type: none"> ○調和のとれた特別活動の全体計画と各活動及び学校行事の年間指導計画を全教師の協力の下で作成する。 ○教師の適切な指導の下、児童の自主的、実践的な活動が助長されるような全体計画を作成する。 ○家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用など工夫する（各活動及び学校行事でも考慮） ○道徳的実践の指導の充実を図り、集団の中で自己を生かす能力を養えるようにする。
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、自主的、実践的な活動が助長されるようにする。（児童会活動・クラブ活動も同じ） ○児童の自主性を伸ばし、学校生活を一層楽しくするため「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」に重点を置き学級活動の指導が行われるよう工夫する。 ○〔内容〕として示されているものは、いずれの学年においても取り扱う。 ○各教科等における指導との関連や、家庭や地域の人々との連携などを工夫する。 ○児童が自ら現在及び将来の生き方を考えることができるよう工夫する。 ○学校生活への適応や人間関係の形成などについては、ガイダンスとカウンセリングの趣旨を踏まえた指導を図る。
活児童会	<ul style="list-style-type: none"> ○「児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営」「異年齢集団による交流」「学校行事への協力」に関する活動を適切に位置付ける。 ○学校の実態を踏まえて児童会活動の組織を編成する。
活クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ○「クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営」「クラブを楽しむ活動」「クラブの成果の発表」に関する活動を適切に位置付け、異年齢集団の交流が十分に深まるようにする。 ○学校や地域の実態等を考慮し児童の興味・関心を踏まえて実施できるよう計画する。
行学事校	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の創意工夫を生かす。また、学級や学校の実態や、児童の発達の段階などを考慮する。 ○児童会活動との関連を密にするなどして、児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。 ○家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。

第2 指導計画作成のための資料

1 特別活動全体計画例



<内容>

【内容】

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
 - ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
 - イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
 - ウ 学校における多様な集団の生活の向上
- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 - ア 基本的な生活習慣の形成
 - イ よりよい人間関係の形成
 - ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
 - エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
 - ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
 - イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解
 - ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

【各学年段階の配慮事項】

〔第1学年及び第2学年〕

話合いの進め方によって、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解すること。基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、生活をよくするための目標を決めて実行すること。

〔第3学年及び第4学年〕

理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動するなど節度ある生活を送ること。

〔第5学年及び第6学年〕

相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、多様な意見のよさを積極的に生かして合意形成を図り、実践すること。高い目標をもって粘り強く努力し、自他のよさを伸ばし合うようにすること。

【内容】

- (1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営
- (2) 異年齢集団による交流
- (3) 学校行事への協力

【内容】

- (1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営
- (2) クラブを楽しむ活動
- (3) クラブの成果の発表

【内容】

- (1) 儀式的行事
- (2) 文化的行事
- (3) 健康安全・体育的行事
- (4) 遠足・集団宿泊的行事
- (5) 勤労生産・奉仕的行事

<組織・時間等>

- ・計画委員会は輪番制とし学級の全児童で組織する。
- ・係活動や集会活動は児童の発達を考慮して組織する。
- ・学級担任が中心となり指導するが、必要に応じて養護教諭、栄養教諭、司書教諭、地域の方等と連携を図る。

【(1), (2), (3)に相当する時間】

	(1)	(2), (3)
1 年	1 8	1 6
2 年	2 0	1 5
3 年	2 2	1 3
4, 5, 6 年	2 4	1 1

代表委員会

- ・4年生以上の各学級代表男女各1名、各委員会の代表によって組織する。必要によってはクラブ活動の代表等（通学班班長、縦割り班班長）が参加する。
- ・毎月第3月曜日第6校時に実施（定例）し、臨時会議も行う。
- ・児童会計画委員会を中心に企画立案する。
- ・児童会計画委員会は、毎月第2月曜日第6校時に行う。

委員会活動

- ・運動委員会・給食委員会・保健委員会・図書委員会・集会委員会
- ・掲示委員会・栽培委員会・美化委員会・放送委員会
- ・5年生以上の全児童で分担する。所属は通年制とする。
- ・毎月第1木曜日第6校時を定例活動とし、その他常時活動を行う。
- ・各委員会では、委員長、副委員長、記録を互選する。

児童会集会活動 全学年6時間

- ・年4回の児童集会（なかよし集会、〇〇小まつり、6年生を送る会など）を実施する。
- ・業前の時間を活用した短時間の集会活動も実施する。

- ・第4学年以上の全児童をもって組織する。
- ・全教師で分担し、指導する。
- ・毎週木曜日（第1を除く）の第6校時を活動時間に充てる。
- ・年度初めに組織・活動計画について話し合い、決定する。
- ・各学期の終わりに成果をまとめ、次の学期に生かす。
- ・共通の興味関心を児童相互の創意や工夫を生かしながら活動（追求）する。
- ・学年末にクラブ見学（3年生）とクラブ発表会を行い、活動の成果発表の場とすると共に来年度の所属の参考とする。

※4～6学年 25時間（時間割への位置づけ）

- ・手芸調理 ・器楽 ・科学工作 ・伝統文化 ・室内スポーツ
- ・縄跳び ・ドッジボール ・サッカー ・バスケットボール ・陸上

- (1) 儀式的行事
学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。
入学式 始業式 離任式 終業式 卒業式 卒業式 修了式
- (2) 文化的行事
平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。
学習発表会 校内音楽会 展覧会 音楽鑑賞会 演劇鑑賞会
- (3) 健康安全・体育的行事
心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。
通学班編成 運動会 健康診断 避難訓練 交通安全教室 避難引渡訓練
- (4) 遠足・集団宿泊的行事
自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。
全校遠足 林間学校 修学旅行
- (5) 勤労生産・奉仕的行事
勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。
プール清掃 飼育栽培活動 大掃除 地域清掃
地域交流活動（高齢者施設訪問）

<評価>

【評価の対象】

- ・指導計画、指導方法及び展開の過程
 - ・集団の変容
 - ・個人の変容
- 【評価計画の内容】
- いつ（時期、段階）
 - 誰が（主体）
 - どのようにして（方法）
 - ・児童による自己評価
 - ・児童による相互評価
 - ・教師による観察法等
 - 何のために（結果の活用目的）

2 学級活動の年間指導計画

(1) 学級活動で取り上げる活動例

活 動	内 容	議題例及び低・中・高学年別の題材例
(1)学級や学校における生活づくりへの参画	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうぞよろしくの会をしよう」 ・「室内オリンピック集会をしよう」 ・「〇年〇組カルタ大会をしよう」 ・「みんなのコーナーの使い方を考えよう」
	イ 学級内の組織づくりや役割の自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・「学級を楽しくする係を決めよう」 ・「係活動をさらに充実させよう」
	ウ 学校における多様な集団の生活の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇小まつりでのクラスの出し物を決めよう」 ・「〇〇小あいさつ運動を盛り上げよう」
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	ア 基本的な生活習慣の形成	低：「がっこうせいかつのきまり」 中：「雨の日の過ごし方」 高：「公共の場所でのマナー」
	イ よりよい人間関係の形成	低：「みんななかよし」 中：「互いのよさ発見」 高：「男女の協力」
	ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成	低：「みのまわりのあんぜん」 中：「安全な自転車の乗り方」 高：「災害時の安全」
	エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	低：「たのしいきゅうしょく」 中：「バランスのよい食事」 高：「おやつのとり方」
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現	ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	低：「たのしいなつやすみ」 中：「楽しいクラブ活動」 高：「もうすぐ中学生」
	イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解	低：「きれいなきょうしつ」 中：「当番の仕事」 高：「委員会活動の役割」
	ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	低：「本のかりかた、かえしかた」 中：「図書整理」 高：「自主学習の工夫」

(1)は全員で協力して楽しく豊かな学級や学校生活にするために、取り組みたいこと、つくってみたいこと、解決したいことなどを「議題」として取り上げ、計画委員会で選定し、学級全員で決定する。

(2)は現在の生活上の課題、(3)は現在及び将来を見通した生活や学習に関する課題を、年間指導計画に基づいて、教師が「題材」として設定する。

(2) 学級活動の各活動における学習の過程例

1 単位時間の指導計画は、事前及び事後の活動を含めた一連の活動の過程等についての見通しを示すことが大切である。

	(1)学級や学校における生活づくりへの参画	(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現
事前の活動	1 問題の発見 ・教師の適切な指導の下に、学級や学校をよりよくするために、児童が諸問題を発見し、提案をする。	1 題材の設定 ・年間指導計画により、個々の児童が共通に解決すべき問題として、教師が「題材」を設定する。
	2 学級としての課題の選定 ・計画委員が中心になり、以下の視点で問題を整理し、協力して達成したり解決したりする学級として取り組むべき共同の問題を選定する。 ①学級のくらしがよくなる問題か ②工夫できそうな問題か ③自分たちの力で解決できる問題か ④学級の全員に関係のある問題か ⑤今すぐ解決しなければならない問題か	2 問題の確認 ・取り上げる題材について学級の問題等を確認し、課題を設定する。
	3 議題の決定 ・計画委員が中心になり、目標を達成したり問題を解決したりするために、全員で話し合うべき「議題」を学級全員で決定する。	3 共通の課題の設定 ・個々の児童が解決すべき共通の問題として授業で取り上げる内容を決めて児童に伝え、問題意識の共有化を図る。
	4 活動計画の作成 ・教師の適切な指導の下、計画委員会で活動計画を作成する。 ①提案理由の練り上げ ②役割分担(司会、黒板記録、ノート記録等) ③決まっていること(条件)の確認 ④めあての設定 ⑤「話し合うこと」の設定	4 指導計画の作成 ・事前、本時、事後の指導計画を教師が作成し、事前調査をしたり、資料を作成したりする。 ・資料作りや資料の説明等で児童の活動を取り入れる。
	5 問題の意識化 ・議題に対する関心を高め、話し合うことについて考えたり、情報を収集したりして、自分の考えをまとめるなど問題意識を高める。	5 問題の意識化 ・題材への関心を高め、話し合いに積極的に参加できるように自分の現状や目指す姿について考えたり、学級の現状を調べたりして、問題意識を高める。

本時の活動	6 学級会（話し合い活動）	6 話し合いの活動
	集団討議による集団としての合意形成 ・教師の適切な指導の下、活動計画に沿い、役割ごとに能率よく進行する。 ・少数意見も大切にしながら、多様な意見のよさを生かして、提案理由に基づいた折り合いをつける話し合いができるように助言する。	集団思考を生かした一人一人の意思決定 ・主に教師が中心となり、児童の活動を取り入れながら指導する。 ①問題の共通化、課題の把握 ②問題が起こる原因の追求 ③解決方法等の話し合い ④個人目標の意思決定
事後の活動	7 集団としての実践	7 個人としての実践
	・学級全員で役割を分担し、全員で協力して実践する。 ・児童の活動意欲が高められるように見届けながら称賛する。	・意思決定した個人目標に向かって、一人一人が努力するように働きかけ、家庭に協力を求めるなど、見届け、称賛する。
事後の活動	8 活動の振り返り（評価）	8 活動の振り返り（評価）
	・学級全員で事前・本時・事後の一連の活動を振り返り、よかったことや次の活動への課題等を整理する。 ・学級全体や児童の活動による変容や努力等について称賛する。	・一定期間の実践後、教師による評価や児童による自己評価、相互評価を行う。また、内容によっては家庭の評価も取り入れる。 ・児童の活動による変容や努力等について称賛する。

(3) 発達の段階に即した指導のめやす（以下のような姿になるよう適切に指導する）

内容		低学年	中学年	高学年
話し合い活動	計画	【提案】 ・教師の助言を得ながら、学級全体にとって必要な議題を考え、提案する。 【計画委員会】 （2年生頃から徐々に組織する） ・提案された議題をみんなに知らせる。 ・提案ポストを開ける役割、知らせる役割、指す役割、貼る役割等を輪番で分担する。	【提案】 ・生活の中から、学級全体に関わる問題を見付け、理由を明確にし議題を提案する。 【計画委員会】 ・計画委員会を組織し、教師の適切な指導の下、議題を選定する。 ・話し合いの順序について、簡単な計画を立て、運営の仕事を分担する。	【提案】 ・学級や学校の生活を向上させるための適切な議題を選び工夫しながら提案する。 【計画委員会】 ・計画委員会を組織し、学級や学校の生活に関わる議題を選定する。 ・話し合いの内容や順序を考え、運営に必要な準備をする。
	話し合い	・1年生は教師が司会、記録の役割を担う。 ・教師と一緒に進行しながら、簡単な役割を輪番で少しずつ経験する。 ・2年生は、児童の実態に即して、教師の助言を得ながら、徐々に司会や記録の役割を経験する。 ・友達の意見をよく聞き、約束に従って自分の意見を言う。 ・学級生活を楽しくするための合意形成ができる。	・児童が輪番制で司会や記録等の役割を経験する。 ・相談しながら進行し、時間配分を考え、多くの人に発言の機会を与える。 ・理由を明確にして意見を言ったり、異なる考えについてもよく聞いて公平に判断したりして、よりよい結論をまとめる。 ・楽しい学級生活をつくるために、少数意見も大切にしながら折り合いをつけ、合意形成することができる。	・教師の適切な指導の下、自分たちの手で計画委員会が運営できる。 ・公平な態度で積極的にみんなの建設的な意見を引き出し、みんなが納得できる意見にまとめていく。 ・学級だけでなく学校生活にまで目を向けて話し合い、多様な意見のよさを生かして、よりよい結論をまとめる。 ・提案理由をよりどころに折り合いをつけ、よりよい合意形成ができる。
	実践	・決まったことを仲良く助け合って実践する。	・決定したことを協力し合って進んで実践する。	・決定したことや自分の役割を自覚し、互いに信頼し支え合って実践する。
係活動	組織	・1年生の入門期は、学級生活に必要な仕事を見付けて自分から進んで取り組むことができる。（一人一役の仕事見付け） ・全員がいずれかの係に所属し、活動する。 ・教師の指導の下、活動計画を立てる。 ・適切な時期に係を交代する。	・必要性や重要性を考えて係を設定する。 ・仕事に応じて、内容や人数を考える。 ・係ごとに活動内容、方法等を検討し、継続的に活動する。 ・当番的な活動を整理統合し、創意工夫が生かせるような係を組織する。	・必要性や重要性を考え、係の仕事内容や人数を話し合って決める。 ・必要に応じて、組織を見直すために話し合う。 ・活動内容を検討し、常に学級生活の向上を目指す活動計画を立てる。
	実践	・一人一役の当番的な活動から始め、集団活動の必要性を実感するとともに、創意工夫できる活動に気付くことができる。 ・仲良く助け合って、学級生活を楽しくすることができる。 ・仕事を忘れず、友達と協力して活動する。 ・計画に従って楽しく活動する。	・活動の計画や悩みなどを学級会の議題とし、話し合ったり協力を呼びかけたりして係活動の改善に取り組むなど、協力し合って活動できる。 ・朝の会や帰りの会の時間などを生かして、係活動の連絡や発表の場を設けるなど、自主的に取り組むことができる。	・自分のよさを生かせる係に所属し、自覚をもって活動する。 ・創意工夫ができる活動に重点化する等、学級生活の向上を目指して創造的な活動をすることができる。 ・係活動で身に付けた力を委員会活動などの場でも生かすことができる。
集会活動	計画	・教師の適切な指導を得ながら、計画を立てる。	・創意を生かした原案をつくり、教師の助言の下、計画を立てる。	・集会の意義を理解し、目的を明確にして、自主的に集会を計画する。
	実践	・教師の適切な指導の下、役割を決め、プログラムに従い運営する。	・自分から進んで集会に参加し、分担した役割を果たす。	・内容や種目に工夫を凝らし、自主的に楽しい集会を行う。

(4) 学校で作成する学年別年間指導計画例 4年生

指導目標		<p>○学級の諸問題を解決する意義、自己の生活上の課題を改善する意義、働くこと・学ぶことの意義を理解し、合意形成の方法、生活改善の知識や方法、自己実現に向けた行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>○学級の課題を見だし、理由を明確にして、自分と異なる意見を受け入れながら、合意形成を図り、協働して実践をしたり、自己の生活上、将来に向けた課題を見だし、解決方法を意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>○話し合いや実践を通して身に付けたことを生かし、よりよい人間関係を形成するとともに、日常生活の充実・向上を図ろうとする態度を養う。</p>					
学級活動の内容		(1)学級や学校における生活づくりへの参画【24時間】	(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 【(2)・(3)は合わせて11時間】		短時間で指導する題材	児童会活動・学校行事等の予定	
		予想される議題例	・指導上の留意点	題材 ○指導上のねらい ・指導上の留意点			
4	<p>〈1学期の議題例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どうぞよろしくの会」の計画を立てよう ・係を決めよう ・学級の歌を決めよう ・学級のボールの使い方のきまりを決めよう ・雨の日の過ごし方を考えよう ・七夕集会の計画を立てよう ・「1学期をふりかえる会」の計画を立てよう 等 	計画	<p>・オリエンテーションを実施し、学級会の意義や進め方、計画委員会の役割等について理解できるよう丁寧に指導する。【3(1)】</p> <p>・適切な議題を自分たちで選び、提案できるよう視点を示す。【3(2)】</p> <p>・計画委員が自主的に準備できるよう活動計画作成の手順を具体的に示す。</p>	○4年生になって (3)ア(2)イ	○4年生の学習や生活を知り、不安や悩みを解消し、よりよい人間関係づくりができるようにする。 ・4年生の学習内容や行事等を示し、具体的なめあてが立てられるようにする。【3(1)】	●学級や学校のきまり ●クラブ活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・始業式 ・離任式 ・1年生を迎える会 ・避難訓練 ・交通安全教室 ・運動会 ・プール清掃 ・全校遠足 ・地域清掃 ・終業式
				○安全な自転車の乗り方 (2)ウ	○安全な自転車の乗り方を実践しようとする態度を育てる。 ・安全な乗り方が具体的に理解できるよう安全教室の内容を踏まえる。	●当番活動の大切さ ●手洗い・うがい	
				○歯みがきの大切さ	○歯の健康を守ろうとする態度を育てる。 ・正しいみがき方が理解できるよう実際の歯みがきを取り入れる。	●ろうか歩行 ●雨の日の過ごし方	
				○夏休みの過ごし方 (3)ア(2)ア	○目標をもって夏休みを計画的に過ごそうとする態度を育てる。 ・学習や家庭での役割等に進んで取り組めるよう家庭との連携を図る。【3(4)】	●水の事故を防ぐ ●プールでの約束	
9	<p>〈2学期の議題例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動発表会の計画を立てよう ・夏休み発表会の計画を立てよう ・読書集会の計画を立てよう ・室内オリンピックの計画を立てよう ・グループ新聞コンクールをしよう ・みんなのコーナーの使い方を考えよう 等 	話し合い	<p>・教科等の発表と同様に理由を明確にして、自分の考えが発表できるよう日々の学習から繰り返し指導をする。【3(3)】</p> <p>・友達の異なる意見も受け入れて、楽しい学級生活をつくるために合意形成ができるようにする。【3(5)】</p> <p>・実態に応じて、教師は積極的に助言を行い、時間内に決定できるようにする。</p>	○気持ちのよいあいさつ (2)ア	○進んであいさつをしようとする態度を育てる。 ・気持ちのよいあいさつについて理解できるようロールプレイを取り入れる。【3(1)】	●2学期のめあて ●避難訓練の参加の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・避難訓練 ・学習発表会 ・飼育栽培活動 ・高齢者施設訪問 ・なかよし集会 ・演劇鑑賞会 ・終業式
				○友達と仲よく (2)イ	○互いのよさを知り、協力して生活しようとする態度を育てる。 ・友情の大切さを実感できるよう日常の場面を想起させる。【3(5)】	●読書の楽しさ ●朝食の大切さ	
				○バランスのよい食事 (2)エ	○偏食をなくし、バランスよく食べようとする態度を育てる。 ・具体的なめあてが立てられるよう給食の場面を想起させる。	●規則正しい生活 ●男女仲よく	
				○家庭学習の進め方 (3)ウ	○自主的に家庭学習に取り組もうとする意欲を育てる。 ・意欲を継続させるため1週間程度、励ましの言葉を書いてもらうなど、家庭に協力を依頼する。【3(4)】	●忘れ物をなくそう ●風邪の予防	
1	<p>〈3学期の議題例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆まき集会の計画を立てよう ・思い出カルタをつくろう ・6年生を送る会の出し物を決めよう ・縄跳び集会の計画を立てよう ・クラス文集をつくろう ・4年生がんばったね集会の計画を立てよう 等 	組織	<p>・学級生活が充実・向上する係が組織できるよう当番との違いを丁寧に指導する。【3(1)】</p>	○インフルエンザの予防 (2)ウ	○健康への関心を持ち、進んで予防しようとする態度を育てる。 ・具体的な予防方法が考えられるよう経験を基にした話し合いを取り入れる。【3(2)】	●3学期のめあて ●図書館での勉強の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・地域交流活動 ・避難訓練 ・通学班編成 ・大掃除 ・6年生を送る会 ・卒業式 ・修了式
				○もうすぐ高学年 (3)ア	○高学年に向けてめあてや希望をもって生活しようとする態度を育てる。 ・今後の生活に向けた具体的なめあてが立てられるよう高学年の生活を詳しく紹介する。【3(5)】	●気持ちのよい言葉づかい ●室内の換気	
				○進んで働くこと (3)イ	○家庭での役割を自覚し、進んで取り組もうとする態度を育てる。 ・家庭での役割について励ましの言葉を書いてもらうなど、家庭との連携を図る。【3(4)】	●教室をきれいに ●6年生への感謝	

〈留意事項〉○学級活動で示された内容は、いずれの学年においても必ず取り扱うとともに、1単位時間で指導する。

(5) 学級ごとに作成する年間指導計画例

〇〇市立〇〇小学校 第4学年2組 学級活動年間指導計画

学級教育目標	友達を思いやる子 真剣に学ぶ子 一生懸命運動する子
--------	---------------------------

<p>集団活動における児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級会の基本的な進め方を理解しており、ある程度は自分たちで進行することができる。 ・自分の意見を発表することに消極的な児童が見られる。 ・集会では、男女分け隔てなく、協力して取り組んでいる。 ・係活動をとっても楽しみにしており、休み時間に進んで取り組んでいる。 	<p>教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の手で議題を選定し、活動計画を作成してほしい。 ・係を創意工夫して、学級生活を充実させてほしい。 ・計画的に準備をして、集会に取り組んでほしい。 ・自分で立てためあてに向かって努力を継続できるようになってほしい。
---	---

<p>指導目標</p> <p>○学級や日常生活・自己のキャリア形成のための話し合いの大切さを理解し、合意形成の仕方、自分に合ったためあての立て方を身に付けられるようにする。</p> <p>○学級や自分の生活、将来に向けた課題を見付け、合意形成・意思決定をすることができるようにする。</p> <p>○学級や自分自身の生活の充実・向上を図ろうとする態度を養う。</p>

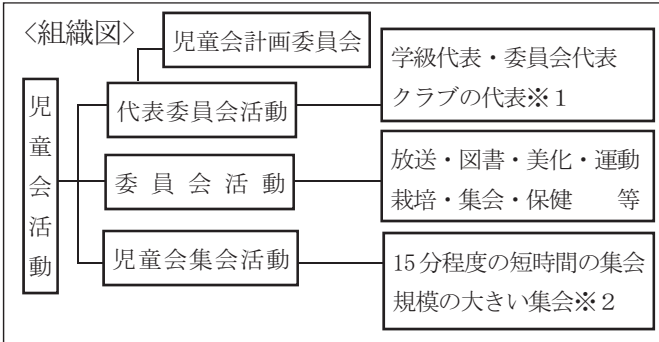
<p>手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身が興味関心をもって進んで取り組めるよう計画的にオリエンテーションを実施する。 ・めあてを振り返る機会を意図的に設けることで、継続して取り組めるようにする。
--

学 期	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ・予想される議題例	(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ○1単位時間での指導 ●短時間での指導
1	<p>1学期の活動目標：「学級のみんなど仲よくなるよう」</p> <p>【話し合い】役割や進行の仕方を確認し、児童自身(計画委員)で進められるようにする。 【係活動】学級生活を充実、向上させるために必要な係を設置できるようにする。 【集会活動】児童自身で計画的に準備が進められるようにする。</p>	<p>・進級お祝い会の計画を立てよう</p> <p>・クラスの歌をつくろう</p> <p>・クラスの掲示板をつくろう</p> <p>○安全な自転車の乗り方 ○歯みがきの大切さ ○4年生になって ○夏休みの過ごし方 ●上手なそうじ ●雨の日の過ごし方</p>
<p>1学期の評価(例)</p> <p>○学級会の意義を理解し、学級生活を向上させようと意欲的に取り組んでおり話し合いの進行の仕方についてもよく理解している。</p> <p>○自分の意見を押し通そうとする児童も見られ、全体の意見がまとまらず合意形成に至らないこともあった。</p> <p>○自分で決めた目標に向けて継続して努力をする児童が増えてきた。</p>		
2	<p>2学期の活動目標：「楽しい学級生活を協力してつくろう」</p> <p>【話し合い】議題の選定や活動計画等、計画委員で準備できるようにする。 【係活動】係相互の交流が行えるよう、場や機会を工夫する。 【集会活動】よりよい集会が実践できるよう振り返りの機会を設けるようにする。</p>	<p>・夏休み思い出発表会の計画を立てよう</p> <p>・係新聞コンクールをしよう</p> <p>・室内オリンピックの計画を立てよう</p> <p>○友達と仲よく ○バランスのよい食事 ○2学期になって ○家庭学習の進め方 ●読書の楽しさ ●避難訓練の参加の仕方</p>
<p>2学期の評価</p>		
3	<p>3学期の活動目標：「みんなで楽しい思い出をつくろう」</p> <p>【話し合い】少数意見を大切に、友達の意見を生かそうとする話し合いを進められるようにする。 【係活動】係発表会など1年間の成果が認め合える機会を設ける。 【集会活動】集会の例を提示し、レクリエーション的な内容に偏らないようにする。</p>	<p>・思い出カルタをつくろう</p> <p>・係発表会の計画を立てよう</p> <p>・4年2組お別れ会の計画を立てよう</p> <p>○インフルエンザの予防 ○進んで働くこと ○もうすぐ高学年 ●6年生への感謝 ●教室の換気</p>
<p>3学期の評価</p>		

- 〈留意事項〉 ○学期末に指導目標をもとにして、個と集団の評価を実施する。
○学級活動における自発的、自治的な活動を中心として学級経営の充実を図るようにする。

3 児童会活動

(1) 児童会活動の活動内容と組織例



〈留意事項〉

○学級代表は高学年が中心となるが、学校規模によっては、中学年児童の参加も考えられる。

○代表委員会と各委員会を同じ時間に行うことのないよう実施の在り方を工夫する。

※1 クラブの代表については、必要に応じて招集する

※2 規模の大きい集会については、1～2単位時間程度で実施する

(2) 児童会活動の年間指導計画例

指導目標	○児童会や委員会活動の意義を理解し、計画や運営、交流の仕方を身に付けるようにする。 ○学校生活における課題の解決に向け、合意形成したり、意思決定したりできるようにする。 ○異年齢における互いのよさを生かし、協働してよりよい学校生活をつくろうとする態度を養う。		
	代表委員会活動（予想される活動）	委員会活動（予想される活動）	児童会集会活動（予想）
			短時間 大規模
1学期	○児童による組織づくり ※教師の適切な指導のもと、役割を輪番にするなど、児童を生かす工夫をする	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介と役員を選出 活動計画と役割分担の作成 委員会紹介の計画と準備 	新役員紹介 ふれあい集会 1年生を迎える会
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 活動計画の作成 全校集会の実施・振り返り 学校生活の諸課題について 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の計画と分担確認 活動強化週間の計画・実施 2学期のまとめと反省 	花植集会 クリーン活動 ○○小祭り 開校記念集会
3学期	<ul style="list-style-type: none"> クラブ発表会の計画 卒業に関する全校集会の実施 反省と次年度への引継ぎ 等 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の活動計画の見直し 1年間の活動のまとめと評価 次年度への引継ぎと準備 	縄跳び集会 委員会発表 6年生を送る会

〈留意事項〉

○集会等活動においては、各学級の関わり方等について、学級経営との関連を図る。【3(3)】

○学校行事の計画の一部を担う場合は、児童の負担過重にならないようにする。

(3) 代表委員会

ア 代表委員会の年間指導計画例

本校における代表委員会活動の目標	異年齢集団による話し合い活動を通して、それぞれの学年の意見を尊重しながら、よりよい学校生活を築くことができるように合意形成を図ったり、活動をしたりする。		
活動場所	児童会室	活動時間	毎月第3月曜日の6校時を定例とし、その他必要に応じて行う。
代表委員会活動（予想される活動）		指導上の留意点	
1学期	○代表委員会の組織づくりを行い、1年間の活動計画を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童会計画委員会については、高学年の学級代表・委員会の代表が輪番で組織、運営できるように助言する。 前年度の活動記録を参考に、今年度の予定を作成するように指導する。【3(2)】 	

〈話し合いの議題案〉

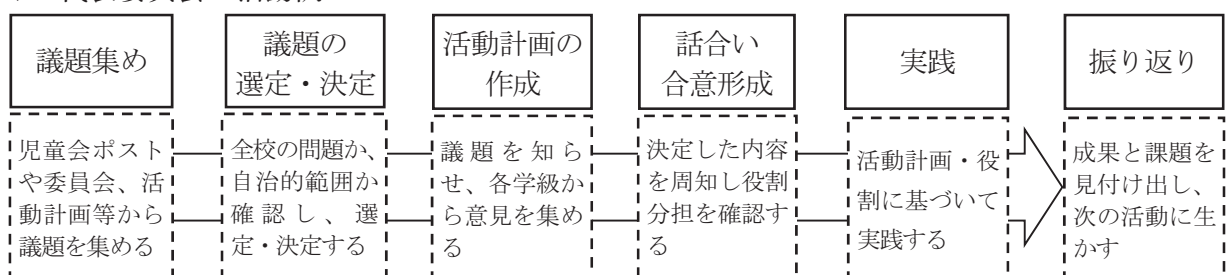
- ・1年生を迎える会をしよう ・全校遠足の遊びを計画しよう ・○○小祭りの内容を決めよう ・開校を祝う会をしよう
- ・あいさつ運動を計画しよう ・6年生を送る会をしよう ・運動会を盛り上げよう ・「いじめ0（ゼロ）」集会をしよう

〈留意事項〉

○児童の実態や発達の段階を考慮し、自主的、実践的な活動が助長されるようにする。

○学級代表が参加しない低学年の児童も計画や運営に関わることができるよう、活動を工夫する。

イ 代表委員会の活動例



(4) 委員会活動

ア 委員会活動の年間指導計画例

本校における 委員会活動の目標	学校生活の充実と向上を目指し、学校内の仕事を分担処理するとともに、発意・発想を生かし、創意工夫するなど、自主的、実践的に取り組むことを通して、合意形成を図ったり、よりよい人間関係を形成したりできるようにする。		定例活動日 第1木曜日第6校時
	予想される主な活動内容	指導上の留意点	
1 学 期	・自己紹介、委員長等の選出 ・年間活動計画の作成、仕事分担 ・委員会の活動紹介の計画と準備	・年間、学期、月ごとに活動計画を立てるように指導する。 ・定例活動日を設け、常時活動の内容確認や、学校生活をよりよくするためにできることを考え、活動内容や活動計画を話し合う。	
2 学 期	・活動計画に沿って各学期の活動 ・学期末のまとめと振り返り ・短時間（15分程度）の児童集会の計画、実施	・活動を進める中で、学校生活の充実と向上を図るための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図って実践する機会を大切にする。【3(2)】 ・異年齢集団を生かした仕事分担を行い、共に協力し、責任をもって活動に取り組めるようにする。【3(5)】	
3 学 期	・活動計画の見直しと作成 ・1年間の活動のまとめと評価 ・次年度への引継ぎの準備	・児童一人一人の活動状況のよさを積極的に見取る評価を行う。 ・学校行事の特質に応じ、活動の一部を担当したり、運営に協力したりできるようにする。	
委員会	担当者	活動場所	予想される活動の目標（◎）と主な活動内容（・）
美化	2名	4-2	◎きれいな環境の中で過ごせるように、美化活動を工夫する。 ・美化計画 ・校内クリーン活動 ・リサイクル活動 ・掲示板装飾 等
保健	2名	保健室 1-1	◎明るく健康な生活を送ることができるように、保健活動を工夫する。 ・ポスターの作成と掲示 ・健康やけがの調査 ・保健ニュースの放送 等

〈留意事項〉

○児童による自主的、実践的な活動の充実を図るため、児童数や学級数、指導に当たる教職員組織、施設、設備などの学校の実態を考慮し、創意工夫して指導計画を作成する。

イ 教師が作成する図書委員会の年間指導計画例

図書委員会	活動目標	本に興味をもって読む児童が増えるように、読書に親しめる活動を工夫する。
主な活動	・図書室紹介 ・読書発表会 ・読書週間のイベントの実施 ・図書整備 ・本の貸出活動 ・本の紹介 等	
月	予想される活動内容（定例・常時）	指導上の留意点
10月	【定例】10月の活動の計画立案、読書週間の話し合い 【常時】図書整理、貸出活動、イベントの準備	・全校児童が意欲的に参加できる工夫を考慮することで、合意形成できるようにする。【3(1)】
3月	【定例】1年間のまとめと評価、次年度への引継ぎ	・次年度の年間指導計画に生かせるようにする。

〈留意事項〉

○教師が作成する指導計画は、児童の活動として取り上げるべき具体的な内容、方法、時間等の基本的な枠組みとし、それを基に児童の手により具体的な活動計画が立てられるようにする。【3(2)】

○児童が作成する活動計画には、年間活動計画と1単位時間の活動計画などがある。

(5) 児童会集会活動

ア 児童会集会活動の年間指導計画例

本校における 児童会集会活動の目標	学年や学級が異なる児童と楽しく交流することや、創意工夫して活動するなどの自主的、実践的な活動を通して、合意形成を図ったり、よりよい人間関係を形成したりできるようにする。		
種類	全校児童集会		学年児童集会
月	比較的規模の大きい集会	短時間で実施する集会	複数学年、同一学年で実施する集会
	代表委員会主催（学期1～2回）	集会委員会や各委員会が担当（月1回業前）	
4月	4/○ 1校時 1年生を迎える会	じゃんけんゲーム集会（集会委員会）	○年生よろしく集会（学年）
10月	10/○ 3校時 ○○小祭り	クリーン活動集会（環境美化委員会）	なかよし集会（1年、6年）

〈留意事項〉

○集会は教師の適切な指導の下、異年齢集団による交流のよさを一層重視し、児童の発意・発想を生かして計画・運営するとともに、全ての児童が主体的に参加できるように配慮する。【3(1)】

○児童が作成する1単位時間の活動計画は、活動名、日時、ねらい、活動内容、準備、分担等を入れる。

○集会の形態としては、全校児童、複数学年の児童、同一学年の児童で行われるものなどが考えられる。

イ 児童会集会活動の活動例

予想される活動例（比較的規模の大きい集会）		予想される活動例（短時間の集会、学年集会）	
ありがとう集会	・学校応援団を招いて感謝を表す集会 活動紹介のクイズ、感謝状、歌 等	大なわ集会	・仲間と心を合わせ記録に挑戦する集会 8の字とび競技、表彰、感想発表 等
6年生を送る会	・お礼と激励の気持ちを表す集会 各学年の出し物、呼びかけ、歌 等	いじめ0集会	・個々を大切に、いじめ0を目指す集会 標語、近隣中学校の取組の紹介 等

4 クラブ活動

(1) クラブ活動の組織づくり

指導	手順例	方法例
前年度の指導	クラブ選択 ①新設クラブの希望調査 ②クラブ紹介 ③クラブの成果発表 ④クラブの設置 ⑤クラブ活動希望調査	〈3学期中に計画的に実施〉 ○新4年生以上の児童を対象に新設クラブの希望調査を行い、クラブ活動の新設及び統廃合する場合の資料とする。 ○新4年生に向けて、クラブ長を中心に行う。 (集会・新聞・ポスター・校内放送等) ○各学期又は年間のまとめとして行う。(クラブ見学・発表会等) ○児童の希望を尊重し、学校の職員数や施設等を考慮し、自発的、自治的な活動の範囲内で行えるクラブを設ける。 ○教師の適切な指導の下、希望クラブを三つ程選ぶ。
新年度の指導	組織づくり ①所属の確認 ②指導教師の決定 ③児童による組織づくり (第1回目)	〈年度当初に計画的に実施〉 ○前年度の希望調査を管理し、確実な引継ぎを書面にて行う。 ○全教職員での指導体制を整え、担当を複数にする。 ○児童が学期、月ごとなどの活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営に当たることができるようにする。活動計画を立てる際には、児童の話合いによって決めることが大切である。【3(2)】

〈留意事項〉

- クラブへの所属については児童の興味・関心を大切に、異年齢による自発的、自治的な活動が効果的に展開できるように教師の適切な指導の下に決める。
- クラブ活動を組織するに当たり、指導教師の数や施設、地域の実態などを考慮するとともに、安全面に配慮するなど十分な検討を行い、実施するようにする。

(2) クラブ活動の年間指導計画及び活動計画例

ア クラブ活動の年間指導計画例

指導目標	○クラブ活動に自主的、実践的に取り組む中で、意義を理解し、活動の仕方を身に付けるようにする。 ○よりよいクラブにするため、合意形成を図ったり、異年齢の人間関係をよりよく形成したりすることができる。 ○クラブを通して、身に付けたことを生かし、協力して目標を育成しようとしたり、自分のよさを生かそうとしたりする態度を養う。					
学期	予想される主な活動内容			指導上の留意点		
1学期	○自己紹介をし、クラブ長等を選出する。 ○活動内容を話し合い、年間指導計画を作成する。 ○活動計画に沿って1学期の活動を楽しむ。 ○1学期のまとめと反省をする。(カードの記入等)			・児童の発達の特徴や活動への関心、自発的な活動の経験を捉え、それらに応じた指導ができるよう計画する。【3(1)】 ・課題の設定や振り返りといった活動の過程を重視する。【3(2)】 ・活動の仕方やきまりを工夫し、経験差や学年差を補い、異年齢の児童が協力して活動できるように配慮する。【3(5)】 ・教師不在で活動が行われないうちに支援体制を整えて、事故防止に配慮する。		
2学期	○2学期の活動計画を立てる。 ○活動計画に沿って2学期の活動を楽しむ。 ○2学期のまとめと反省をする。					
3学期	○3学期の活動計画や発表会に向けて話し合う。 ○3学期の活動を楽しみ、発表会に向けた準備をする。 ○1年のまとめと評価をする。					
クラブ名	主な活動内容	場所	クラブ名	主な活動内容	場所	
手芸調理	作品を作る、料理を作る	家庭科室	科学工作	科学実験や工作を行う	理科室	
室内スポーツ	ルールを決め、試合を楽しむ	体育館	伝統文化	習字や囲碁などを体験する	地域交流室・公民館	

〈留意事項〉

- 家庭や地域の人々の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりすることに努める。【3(4)】
- 児童の自発的、自治的な活動を効果的に展開するため、年間や学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てるものとする。
- 年間の活動のまとめとして、全校児童や地域の人々の前で「クラブ発表会」を行うことが考えられる。この発表会を次年度にクラブを選択する際のオリエンテーションの機会とすることも考えられる。【3(3)】

イ 教師が作成する室内スポーツクラブの年間指導計画例

室内スポーツクラブ年間指導計画		担当者	〇〇〇 〇〇〇	活動場所	体育館	所属人数	〇〇名
活動目標		異年齢での活動や協力を大切に、室内スポーツに慣れ親しみ、楽しんで活動に取り組む。					
学期	時数	予想される活動		指導上の留意点		備品・消耗品	
1	8 12	○組織づくり (役員決め・グループ編成) ○活動計画の立案 ○室内スポーツに慣れ親しむ ・バスケットボール ・ソフトバレーボール ・ドッジボール ・バドミントン ・卓球 他 ○1学期のまとめ		・クラブ活動の意義の理解を図り、創意工夫して活動できるように助言する。 ・活動計画は児童自らの手で具体的に立てられるものであるため、所属する児童全員の話し合いによって決めていく。【3(2)】 ・異年齢での活動のため、ペアやチーム内で教え合いの時間を確保したり、グループごとに輪番で運営したりする。【3(5)】 ・個人的な技能の向上や知識の定着を図ることに終始しないよう配慮する。		・各スポーツに必要な用具 ・児童の発案をもとに考えられるもの	
2	11 15	○活動計画の立案 ○室内スポーツに慣れ親しむ ○2学期の反省		・各スポーツの基本的なルールを確認し、自分たちで工夫することで、チームで協力して楽しめるようにする。【3(2)】		・各スポーツに必要な用具	
3	6 8	○活動計画の立案 ○室内スポーツに慣れ親しむ ○クラブ発表会に向けて ○クラブ発表会 ○1年間の反省		・活動の成果が効果的に発表できるように計画を立て、自主的に協力して準備と練習ができるよう時間を確保する。 ・発表会は学校行事や集会、地域の行事で行うなど、学校の実態に応じて設定するようにする。【3(4)】		・各スポーツに必要な用具 ・模造紙 ・画用紙 ・ペン	

(留意事項)

- 指導目標を明確にし、児童の発達の段階や学校、地域の実態に即して、各クラブ担当の教師が作成する。
- 多面的な評価を行うために、担当するクラブの児童に積極的に関わるとともに、各学級の児童の情報交換を適宜行い、共通理解を図る。

ウ 児童が作成する手芸調理クラブの活動計画例

手芸調理クラブ活動計画		クラブ長	〇〇	記録	〇〇	所属人数	〇〇名	活動場所	家庭科室	
目標		手芸や調理を楽しみ、メンバーで協力して活動する。								
学期	時数	月	主な活動内容				準備するもの			
1	8 12	4	○役割分担(クラブ長や記録等)を決め、年間活動計画を立てる。				裁縫道具 調理器具 はさみ、のり 他			
		5	○手芸の基礎を学び、自分の作りたいものを作成する。							
		6	○自分たちで手軽に作れる調理を行い、調理の楽しさを味わう。							
		7	○自分や家庭で使う小物作りをしたり、自分たちで作ることができる範囲内でデザートを作ったりする。							
3	6 8	1	○1年間の成果を発表するクラブ発表会の計画を立てる。				模造紙 画用紙 ペン 展示版 等			
		2	○クラブ発表会の役割分担をしたり、作品作りをしたりするとともに発表会に向けた練習を行う。							
		3	○1年間の活動を反省し、次の年の参考になるようにまとめる。							

(留意事項)

- クラブ活動は共通の興味・関心を追求する自発的、自治的な活動であるため、教科色の強い活動となることのないように、また、活動が児童の負担過重にならないように十分配慮する。
- 児童が作成する活動計画に示す内容は、目標や各月などの活動内容、準備物、役割分担などが考えられる。
- 活動を振り返り、新たな目標や課題がもつことができるように児童自身の自己評価や成員相互による評価を適切に行う。
- 活動計画の作成に当たり、食品を取り扱う際には、担当者が事前にアレルギーをもっている児童を把握するとともに、危険が及ばないように十分材料の確認を行う等、健康や安全に十分に配慮する。

5 学校行事

(1) 学校行事の年間計画例

月	儀式的行事	文化的行事	健康安全・体育的行事	遠足・集団宿泊的行事	勤労生産・奉仕的行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4	始業式 入学式 離任式		通学班編成 健康診断			1 1 3	1 1 3	1 1 3	1 1 3	1 1 3	1 1 3
5			避難引渡訓練 交通安全教室 運動会		プール清掃	1 1 5	1 1 5	1 1 5	1 1 5	1 1 5	1 1 5
6				全校遠足		5	5	5	5	5	5
7	終業式			林間学校 (総合で5時間)		1	1	1	1	1	1
8	始業式					1	1	1	1	1	1
9			避難訓練			1	1	1	1	1	1
10		学習発表会		修学旅行		2	2	2	2	2	11
11		芸術鑑賞会			地域清掃	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2
12	終業式					1	1	1	1	1	1
1	始業式					1	1	1	1	1	1
2					地域交流活動	1	1	1	1	1	1
3	卒業式予行 卒業式 修了式		避難訓練 新通学班一斉下校 (新通学班編成)		大掃除	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1
								2 3	2 3	2 3	2 3
						1	1	1	1	1	1

〈留意事項〉

- 学校行事の計画は、1年間を見通し、特定の時期に行事が集中しないように配慮する。また、5つの内容について、すべての学年で取り組むことができるように配慮し計画する。
- 幼児、高齢者、障害のある人々との触れ合いや、自然の家等の社会教育施設を活用した自然体験や社会体験などを積極的に取り入れる。【3(4)】
- 「林間学校 (総合で5時間)」とは、指導計画の中に、総合的な学習の時間 (課題解決に向けた探求活動) を5時間行うことを意味する。
- 文化的行事の学習発表会には、展覧会、音楽会なども考えられる。芸術鑑賞会には、演劇、音楽等の芸術に触れることが考えられる。また、勤労生産・奉仕的行事には、飼育活動、栽培活動なども考えられる。

(2) 学校行事年間指導計画例

月	行事名	ねらい	内容	学年	指導上の留意点	時数
4						
6	全校遠足 宿泊的行事	校外における集団活動を通して人間関係を深める。自然や文化に直接触れる体験を通して学習活動の充実を図る。	・場所—〇〇公園 ・出発式 ・グループ毎に遊ぶ。 ・解散式	全学年	・事前に顔合わせ等を行い、遊びの計画を立てておくとともに、様々な学年と交流する機会を十分にもつことができるようにする。 【3(5)】	5
10	学習発表会	協力的、よりよいものをつくり出し、発表し合うことにより、自他のよさを見付け合う喜びを体得する。	・開会の言葉 ・児童代表の言葉 ・学年の発表 ・全体合唱 ・閉会の言葉	全学年	・普段の学習活動を生かしたものとす。 【3(3)】 ・児童の負担過重にならないよう配慮する。	2
11	地域清掃 奉仕的行事	学校の周りの地域を清掃し、公共や他者のために積極的に取り組もうとする態度を育てる。	・校長先生の話 ・活動時の注意 ・清掃活動 ・地域の人の話	全学年	・地域の自治会等と連絡を取り合い、一緒に清掃活動を行うことができるようにする。 【3(4)】	2

〈留意事項〉

- 学校行事の年間指導計画では、行事ごとの大まかなねらい、内容等について年間を通して見通せるようにする。詳細については、各行事の指導計画で立案する。
- 各教科等で身に付けた資質・能力などを学校行事においてよりよく活用できるようにしたり、学校行事で身に付けた資質・能力を各教科等の学習に生かしたりできるように配慮する。【3(3)】

(3) 各行事の指導計画例

ア 儀式的行事「入学式」の指導計画例

1 ねらい

- 入学式の意義を理解し、ふさわしい参加の仕方や気品のある行動の仕方を身に付けるようにする。
- 新しい生活への希望や意欲につなげるように考え、入学式において、規則正しく行動できるようにする。
- 入学式への参加を通して、これからの学校生活への希望や意欲をもって臨もうとする態度を養う。

2 実施計画

- (1)期日 4月○日 (○) 時間○：○○～○：○○ (2)場所 体育館
 (3)参加学年 1、6年 (4)役割分担・事前の準備と教師の役割 (略)

3 指導内容

(1)事前指導

- 入学式参加の指導 ○国歌の練習 ○歓迎の言葉・歌の練習 ○入学式準備の児童の活動

(2)展開

式次第	指導上の留意点
1 開式の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・国旗及び国歌については、それらを尊重できるよう、社会科、音楽科との関連を図り、正しい認識をもてるよう指導しておく。 【3(3)】 ・1年生の呼名については、事前に名前をよく確認しておくとともに、1年生には呼ばれたら返事をするよう指導しておく。【3(1)】 ・歓迎の言葉は、1年生がこれからの学校生活への期待がもてるようにするために、代表委員会の児童を中心に原案を作成し、事前に練習しておく。 ・在校生代表として自信と誇りをもって校歌を斉唱できるよう、事前に練習しておく。【3(5)】
2 国歌斉唱	
3 校長式辞	
4 1年生担任発表並びに教職員紹介	
5 入学児童の呼名	
6 教育委員会告辞	
7 来賓祝辞	
8 来賓紹介並びに祝電披露	
9 歓迎の言葉	
10 校歌斉唱	
11 閉式の言葉	

- (3)事後指導 ○新入児童への指導 ○参加しなかった学年への指導 ○参加児童への指導

4 評価規準 (略)

〈留意事項〉

- 国旗は、国旗掲揚塔及び式場内の正面に掲揚し、国歌は、前年度より音楽科の学習との関連を図り、指導し、歌えるようにする。

イ 健康安全・体育的行事「避難訓練」の指導計画例

1 ねらい

- 訓練の意図を理解し、非常事態（竜巻）での身の守り方や必要な行動の仕方を身に付けるようにする。
- 安全に避難し、身を守る方法について考え、他者と協力して適切に判断し、行動できるようにする。
- 訓練を通して、防災に対する意識を高め、日常生活に生そうとする態度を養う。

2 実施計画

- (1)期日 9月○日 (○) 第2校時 (2)場所 各教室
 (3)参加学年 全学年 (4)役割分担 (略)

3 指導内容

- (1)事前指導 ○避難経路、避難場所、避難の仕方の確認 ○竜巻についての指導

(2)展開

活動の流れ	指導上の留意点
1 竜巻発生の通報	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路、避難場所については、事前によく確認しておく。 ・整列後、速やかに避難場所へ移動し、なるべく体勢を低くして隣の児童と肩を組むよう指示を出す。 ・放送に耳を傾け、避難場所で静かに話が聞けるようにする。
2 避難の指示・防災本部の設置	
3 避難指示の解除	
4 指導講評	

- (3)事後指導 ○各学級における振り返り 【3(2)】

4 評価規準 (略)

〈留意事項〉

- 地域の環境や地形、自然災害等に応じた避難訓練や地域住民と共同して実施する防災訓練などは特に重視して行う。【3(4)】